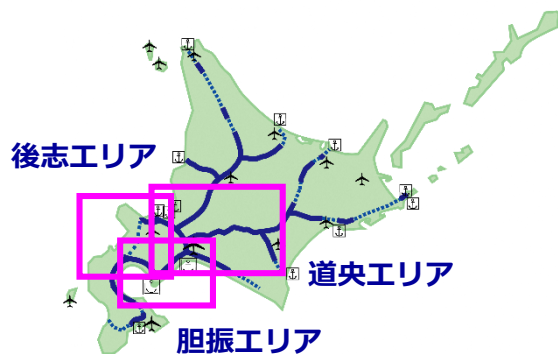


3. 大規模災害への備え

【大規模災害時の代替ルートの確保】

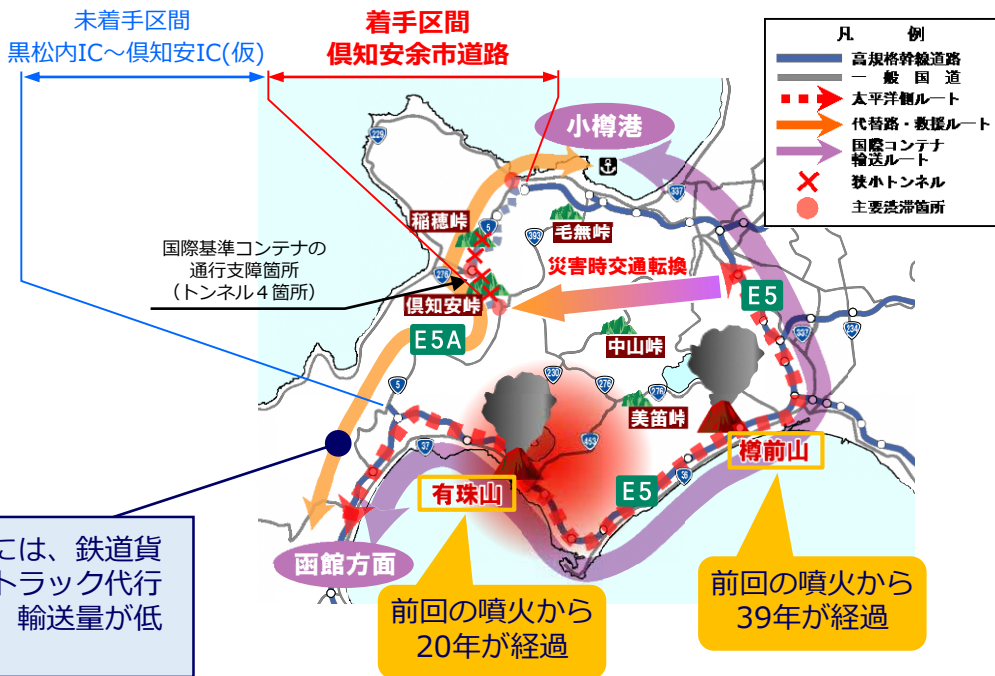
- 平成12年の有珠山噴火により、北海道縦貫自動車道が約15ヶ月間通行止めになったほか、JR室蘭線も不通となるなど、北海道と本州間の人流・物流に重大な影響が出ました。
- 大規模災害（噴火・地震・津波）に備えて信頼性の高い代替ルートの整備が必要です。



■ 有珠山の噴火周期



平成12年の有珠山噴火時には、鉄道貨物輸送は一般道を利用したトラック代行による輸送に変更したため、輸送量が低下し輸送時間も増加。



【道東自動車道における暫定2車線区間の4車線化】

- 平成28年8月の台風で、道央と道東を結ぶ国道・鉄道が長期間に渡り通行止めとなりました。
- 道東道も被災しましたが、わずか1日で復旧し、物流や人流を支えました。しかし、暫定2車線区間であるため、事故処理や緊急工事の際には通行止めになるなど、安定的な交通の確保が課題となりました。



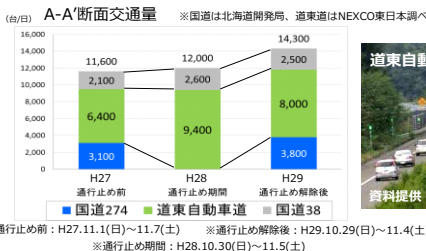
4車線区間の復旧イメージ



【通行止め期間】

道東自動車道

- 平成28年8月30日(被災直後)～平成28年9月1日(約2日間)
- 国道38号狩勝峠
- 平成28年8月30日(被災直後)～平成28年9月11日(約12日間)
- 国道274号日勝峠
- 平成28年8月30日(被災直後)～平成28年10月27日(約14ヶ月間)

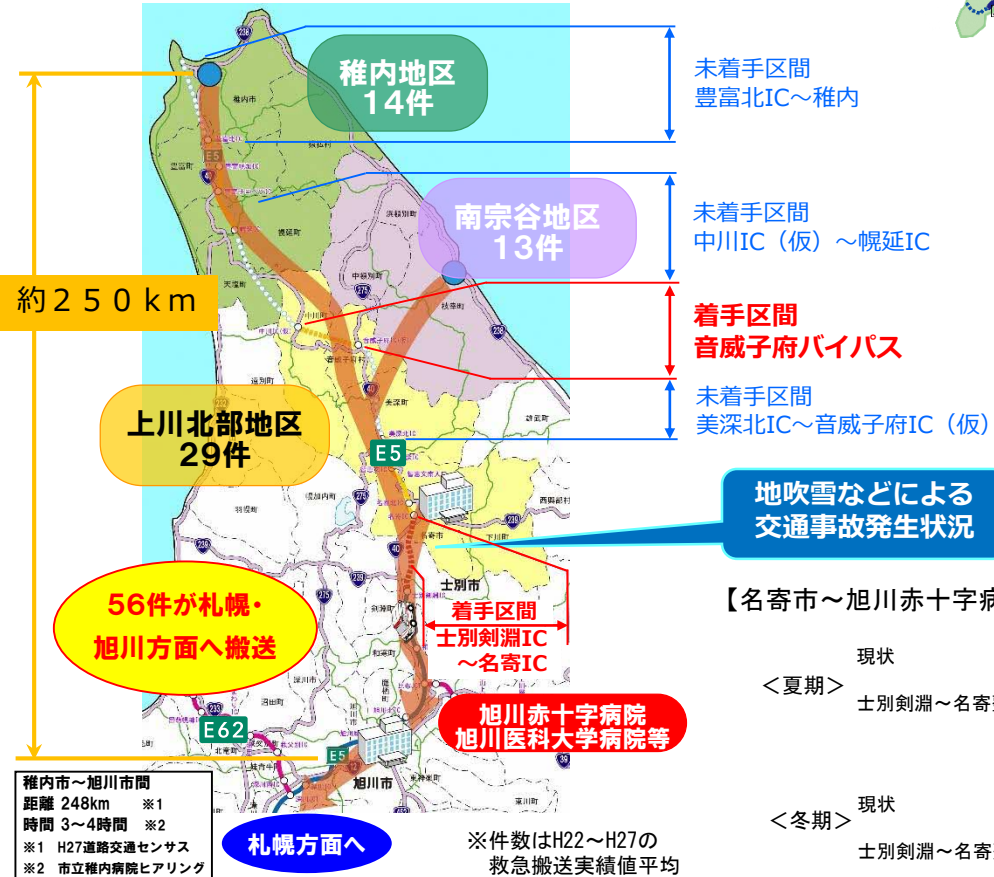


4. 医療を支える「命の道」

【道北地域の現状】

- 稚内～旭川間は約250kmあり、東京～長野県長野市と同程度の距離を救急搬送しています。（片道約4時間）
- 高規格幹線道路を整備することによる時間短縮効果や事故等に対する安全性向上は必要不可欠です。

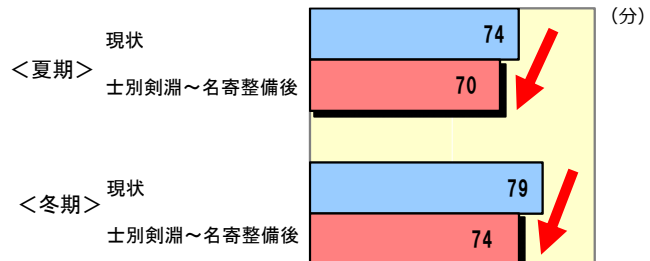
【上川北部・宗谷管内の管外救急搬送】



道北エリア



【名寄市～旭川赤十字病院間の所要時間の変化】

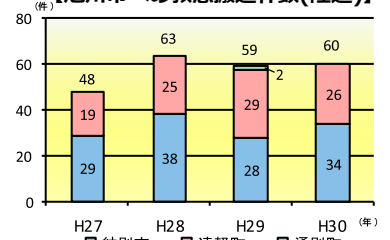


【遠軽・紋別地域の医療における現状】

- 遠軽及び紋別地域において第三次医療機関である旭川赤十字病院や北見赤十字病院への救急搬送は重要な役割を担っており、旭川・紋別自動車道の延伸により搬送時の安全性向上や時間短縮が期待されます。



【旭川市への救急搬送件数(陸送)】



【北見市への救急搬送件数(陸送)】

